

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の会議では報告が主体となり、検討事項や勘案事項についての記録が不足しており第三者にわかりにくい記録及び活用となっていた。	活発な意見交換と共に、今後検討課題などを明確に記録に残して運営に活用する。	平成22年4月での運営推進会議では、既に消防署員及び地元消防団の方に参加いただき実施。非常・災害時の対応と連携について確認、点検を行った。また、今後も継続した連携を確認。	1ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等の意見の反映に於いて、直接的な意見交換のみでアンケートによる意見などの取り組みがなかったため真の家族の意見が見えていなかった。	家族会などを通じて意見、要望を運営推進会議の中でも検討してサービスと質の向上に反映する。	22年度に家族会の実施にあたり、ホームでの活動報告とともにアンケートなどを活用して、意見をもとに職員間で早急な対応が必要な場合は随時検討会議を実施し、ケア会議(1回/月)でも意見、要望に対する対応を検討実施していく。	3ヶ月
3	26	チームでつくる介護計画とモニタリングに於いて、入居者個々の理解を更に向上して介護計画に反映する必要がある。	入居者個別の理解を職員がしっかり把握し、もって個別の現状に即した介護計画に活用してより良い暮らしを提供できるシステムを作る。	センター方式の書き込みで今まで以上の情報を収集して、介護計画に活用させ思いや意向をサービス提供に反映する。	12ヶ月
4	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援では平成22年1月よりグループホーム内での看護師の配置が欠員となっている。	現在の入居者の看取り希望はないものの、今後の多様化するニーズに備え看護師の雇用、配置を行う。	求人の継続と看護師の雇用、配置を行い重度化や終末期に向けた多様化するニーズに対応できる体制作りを実施する	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。